

記録日時 2023 年 5 月 26 日(金) 記録者名 3年 1組 〇〇〇〇

実施項目 さんこうえんの ミキ土壌診断 No.3

実施内容

〈結果〉

	ミキ①	ミキ②	ポトカミニ③	ポトカミニ④	ミキバリエ⑤ ガーダ	ミキバリエ⑥ カッタ	県農培土⑦	さんこうえん⑧ 培土
アンモニウム態窒素	7ppm	0ppm	0ppm	17ppm	0ppm	0ppm	0ppm	0ppm
硝酸態窒素	50ppm以上	18ppm	13ppm	50ppm以上	0.5ppm	7ppm	39ppm	26ppm
カリウム	38ppm	0ppm	11ppm	42ppm	0ppm	0ppm	20ppm	24ppm
リン酸	0ppm	0ppm	0ppm	17ppm	0ppm	0ppm	0ppm	0ppm

〈考察〉

今回、こんなにも数値に差が出てしまったのは栽培時に発生する
お水のムラによって肥料の溶出が違うからではないかと考えた。
また、肥料の与える時期によっても肥料の溶出が変わってくるのと、
さんこうえんでは、液肥を施肥しているのでも、その瞬間だけ効果が
あってあとは流れているから、このような結果につながったのではないかと
考えた。

土壌中の NPK の診断だけでなく、
溶出している NPK も診断できると
効率の良い肥料管理につながるかも
しれませんね。

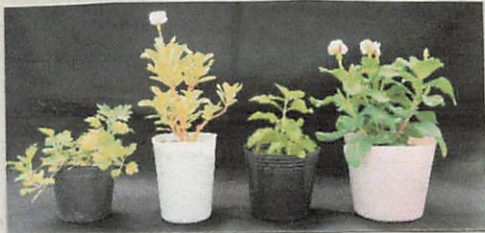
〈補足〉

ポット土(苗)の水分排出量

ミキ① 50ml ミキ② 20ml ポトカミニ③ 65ml

ポトカミニ④ 50ml ミキバリエガーダ⑤ 16ml

ミキバリエガーダ⑥ 60ml 県農培土⑦ 34ml さんこうえん培土⑧ 70ml



面白い考察だと思います。「土に存在
する肥料成分」という見方から「植物が
利用できる肥料成分」という視点に
変えて